

競 技 注 意 事 項

- 1 本競技会は、2022 年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則及び本大会規則に基づき実施する。
- 2 練習は、下記の時間帯は本競技場を使用してよい。
 - ・ 7 月 23 日(土) 13:00~17:00 ・ 7 月 24 日(日) 7:00~8:15
 - ・ 公開練習時の使用要領は別に定める。
 - ・ 競技場は開門時刻(午前 7 時 00 分)から使用してよい。
 - ・ 競技開始後は、バックストレート外側の 3 レーンは常時開放とする。バックストレートは、周回競技(800m、1500m、リレー種目)が行われていない時間は使用可とする。ただし、ハードル等の道具の設置は禁止とする。※周回競技開始前には速やかにレーンから出ること。
- 3 競技者招集について
 - (1) 招集場所は、管理棟正面付近に設ける。(会場レイアウト参照)
 - (2) 競技開始時刻及び招集完了時刻は、すべてプログラム記載通りとする。
 - (3) 招集方法
 - ア. 競技者又は代理人は、トラック競技は競技開始時刻 30 分前、フィールド種目は競技開始時刻 40 分前までに競技者招集所付近掲示板の出場競技者一覧表にチェックをする。(○で囲む)
 - イ. リレー競技者は、オーダーの提出をもってチェックする。
 - ウ. リレー競技は、招集完了時刻の 1 時間前までにオーダーを提出する。(時間までに提出されない場合は棄権とみなす)
 - エ. 競技者は、出場種目の招集開始時刻には招集所に集合する。プログラム記載の招集開始時刻より点呼を始め、招集終了時刻には各競技場への移動を開始する。
 - オ. 招集場所での点呼に不在の競技者については、当該種目を棄権したものとみなす。
- 4 トラック競技について
 - (1) ナンバーカードは、交付された大きさのまま使用し、ユニフォームの胸と背に 2 枚見えるようにつけること。跳躍競技の競技者は、胸または背につけるだけでもよい。
 - (2) 招集開始時刻になったら、トラック競技出場者は、競技者係の机の上にある腰ビブスを選手自ら取りつける。(自分のレーンナンバーを間違わないように)、リレー競技については、アンカーは間違わずにレーンナンバー(腰ビブス)をつけること。※今大会はシール貼付け式の腰ビブスを使用します。
 - (3) リレーでは、バトンパスが終わったら、自分のレーンのマークを外すこと。なお、マークは、主催者側で準備したものをを使用すること。
 - (4) トラック競技のスタートは、イングリッシュコールとし、同じ競技者が 2 回の不正スタートをした時、その競技者を失格とする。
 - (5) 100m 決勝は、予選 1 位から 8 位まで A 決勝、予選 9 位から 16 位までを B 決勝として実施する。入賞者は A 決勝者とする。
 - (6) 800m で 1 組の人数が 12 名を超えた場合、グループスタートとする。
- 5 フィールド競技について
 - (1) フィールド競技の試技は 3 回とする。但し、コンバインド種目については、全国大会要項に準じ 2 回とする。(コンバインド種目の走高跳は一つの高さに対して試技は 2 回とする)
 - (2) 走高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。(但し、当日の天候等により審判長の指示で変更もある)

	練 習	1 回目の高さおよびバーの上げ方	
5 年男子	90cm	95cm~5cm きざみ	120cm 以上 3cm きざみ
6 年男子	95cm	100cm~5cm きざみ	130cm 以上 3cm きざみ

5年女子	90cm	95cm~5cm きざみ	120cm 以上 3cm きざみ
6年女子	90cm	95cm~5cm きざみ	130cm 以上 3cm きざみ

(3) 試技順はプログラム記載通りとする。

6 競技場への入退場について

- (1) 競技場への入場は、係員の誘導に従うこと。競技者以外は競技場に立ち入ることはできない。
- (2) トラック競技出場者は、競技終了後、腰ナンバーカードを外して専用のゴミ袋に入れ、フィニッシュ付近ゲートより退場する。荷物は各自が取りに行く。
- (3) フィールド競技出場者の退場については、当該競技役員・マーシャルの指示に従うこと。

7 競技に使用する用器具は、すべて主催者側が用意したものを使用する。

8 日本陸連競技規則内、シューズ規則(2020年度改定・第143条(現TR5.13.3)・競技用靴に関しては、ルール適用外とする。

9 表彰については、1位から3位までの入賞者を表彰する。表彰時にはメダルのみ授与し、賞状は後から係から受け取る。4~8位までの入賞者は、エトランスホールにて賞状を係から受け取る。6年生の男女各1名に「**優秀競技者章**」を授与する。(発表は当日。盾は後日、所属陸上協会に送付する)

10 ケガや体調不良に関しては、応急処置のみ大会主催者が行う。

11 テントの設置は、当日(24日)競技場開門時間である午前7時00分以降、プログラムの「各陸協テント設置可能場所」に従うこと。

12 映像・動画・画像の二次使用について

本大会主催者及び日本陸上競技連盟いずれかが認めた報道機関や大会の協賛・後援の各団体が撮影した大会の映像・動画・画像・記事・個人情報等を主催者および主催者が認めた第三者が大会運営および宣伝等の目的で、大会ポスター・プログラム・パンフレット・大会報告等への使用およびテレビ・ラジオ・新聞・雑誌・SNS・ホームページ等の媒体に掲載することがある。

13 感染症対策

- (1) コロナ禍での全道小学生大会開催であることから、北海道陸協が定めるガイドライン「**競技会開催における新型コロナウイルス感染症対策について**」を遵守していただきます。
- (2) 予選通過者・決勝進出者以外の掲示は原則行わない。プログラム表紙のQRコードで結果を確認すること。

14 その他について

- (1) ごみの処理については、全て持ち帰りとなる。競技場周辺に放置しないようにしていただく。
- (2) 弁当などのアナウンスでの呼び出しはしない。
- (3) 貴重品の管理は、各自又はチームごとに責任をもって行うこととする。紛失物等については、競技会中は大会本部で管理し、それ以降は競技場事務所が取り扱う。